

## 第45回 環境工学研究フォーラム 優秀ポスター発表賞を受賞！

伊藤 司 講師・M1 植原 啓介 君・渡邊 智秀 教授

平成20年11月28～30日までの3日間、大阪工業大学で開催された第45回環境工学研究フォーラム（土木学会主催）において、社会環境デザイン工学科の伊藤司講師、修士1年生の植原啓介君、渡邊智秀教授が、最も優れたポスター発表論文に対して授与される優秀ポスター発表賞を受賞した。

対象となった発表論文題目は、「染色排水の色の評価方法の検討と簡易脱色技術の開発」である。これは従来処理困難とされてきた着色した染色整理業の廃水を、特殊な生物処理により低コストで簡単に脱色するための基礎技術を開発するとともに、評価の難しい染色廃水の色についても新しい評価方法を提案したものである。桐生をはじめ両毛地域には多くの染色整理業の中小企業が存在し、重要な産業となっているが、着色した廃水の処理は数十年来の課題であり、河川水質保全の観点からも重要である。同様の問題は国内の他地域や東南アジア地域にも存在する。高度処理技術では対応可能であるが中小企業への導入は現実的には困難であるとの考えから、簡易で低コストの脱色技術を開発したものである。開発には伊藤講師の長年のバイオフィルム研究からの発想が基盤となり、また修士1年の植原君が学部4年から研究に取り組んだ成果である。今後はこの基礎技術の実用化による河川環境の改善や、様々な着色水処理への適用などの展開が期待される。